

「神は愛です。」(ヨハネの手紙 I 4 章 16 節)

「私たちが知っておくべきこと」

今月の聖句として選ばれた御言葉は、なんと潔く、確信に満ちた御言葉だろうかと思わされます。この聖句は昔から「最短の説教」と呼ばれています。説教というのは、教会で牧師が神様がどうい
うお方なのかを伝えるお話のことです。私たちは自分が語る言葉に説得力を持たせようとするとき、
ついつい言葉数を増やしてしまうものですが、この聖書の言葉を書き記したヨハネは、神様の素
晴らしさを伝えようとする上で、余計な言葉を一切不要としました。なぜなら、神様について語るべ
きことはただ一つであると知っていたからです。

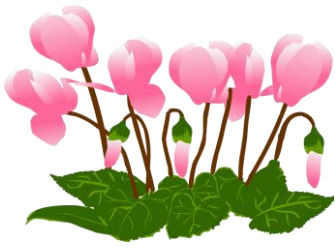
神様は愛です。「神様は愛を持ったお方です」ではありません。神様こそが愛そのものなのです。
ですから、どんなことがあってもこの愛が揺らぐことはありません。(自然現象として)太陽が光を
放たなくことがあるでしょうか。雪が熱く燃え上がることがあるでしょうか。海が干上がることがある
でしょうか。冷たいマグマが存在するでしょうか。神様は愛です。このことが失われたり、変化する
ことはあり得ません。ですから神様がなさることの中に愛を動機にしないものは何一つないと断言
することができるのです。

私たちが喜ぶような恵みはもちろんのこと、悲しみ、苦しみ、悩み、怒りを伴う困難ともいうべき
ものにさえ、私たちは自分に向けられている神様の愛を見出すことができます。危険なものに手
を出し、道を踏み外している子どもを、親が愛をもって叱るように。親への信頼を深めさせるために、
物陰に隠れてみたり、時には試練を与えるかのように。子どもからすれば「なんでそんなひどいこ
とを！」と言いたくなるものですが、親は子供にとって必要だと思うからこそ、子を思うゆえにそうす
るのです。でも、神様はいつもあなたと一緒にいて助けてくださいます。

神様と私たちの関係は、まさに親子の関係です。自分の身に降りかかる様々な困難が、神様の
愛によって与えられたものであると分かるならば、そしてそこに共にいて下さる神様の守りがある
と分かるならば、私たちは信頼をもって試練に臨むことができるようになります。さらに、試練を乗
り越えることによって私たちは、今までは知らなかった大切なことに気付かされたり、大きく成長し
たり、神様を信じる思いがさらに強められるようになります。試練は私たちのためのものなのです。

揺らぎやすく、自己中心的な人間の愛は、いつか気分次第で失われてしまうでしょう。だからこ
そ愛を疑ってしまいますし、神様が愛して下さると聞いてもそこに価値を見出せないことがあるの
です。しかし、神様の愛は、疑う余地すらありません。あなたを肯定し、あなたの側に立って下さり、
あなたの価値を知らせ、あなたのために全てを捨ててくださる。クリスマスに与えられた赤ちゃんイ
エス様は十字架の死に向かって歩み出します。神様を信じようとしなない私達が天の国に入るため
に、神様は独り子であるイエス様を地上に捨てられたのです。それほどまでにあなたを愛しておら
れます。神様は愛です。イエス様によって示された短い、しかし何よりも確かな御言葉をこの命に
刻みたいと思います。





1月のお知らせ

保育理念	受ける愛 与える愛
	—愛されていることを知り・愛する者となるために—

「じっくり取り組む」

新年明けまして、おめでとうございます。本年が皆様にとって、恵みに満ちた一日一日でありますように、心よりお祈りいたします。本年も教職員一同心を合わせ、子ども達の豊かな成長のために、労苦を惜しまず励んでまいりたいと思います。皆様のご協力とご理解のほどを、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年は、コロナウイルス感染拡大防止対策のために、様々な工夫を凝らし子どもたちにとって「必要不可欠」なものは何かを模索した一年でした。それは、どのような経験、活動が子どもたちの心身の成長に必要なかを、吟味するものでした。「幼児期にふさわしい生活」とは、人、もの、ことと出合いや関わりによって、子どもが育ち・育ちあうこと。友達や保育者との対話を通じてコミュニケーションと思考の道具である言語が習得されていくこと。共通のイメージや目的意識を持って活動することで、協同的な遊びが促されること。そして、乳幼児期の接近欲求を十分に満たすこと。などが明らかになりました。保護者の皆様には、子どもたちの成長過程を共に確認させていただく機会としての参観日が、わずかになってしまいました。しかし、節目節目の時に参観して頂きました行事を通して、お子様の成長を感じていただけたことと思っております。

さて、1月～3月までは、一年の締めくくりの3学期を迎えます。次の学年へと向かう準備の学期です。子どもたちからは、もう既に大きいクラスへの憧れや希望を口にしていく声が聞こえています。特にばら組の子どもたちは、小学校という大きな世界に向かおうとしています。スムーズに移行することが出来るためには、「生活習慣」「人とのかかわり」「学びに向かう力」が大切とされています。

「早寝・早起き・朝ごはん」などの規則正しい生活リズムは出来ていますか？

「自分のやりたいことを自分で決めていきますか」「ものの置き場所や片付けを決めていますか」「話は相手の目を見て話したり、聞いたりしていますか」「挨拶や言葉遣いを大切にしていますか」「ルールやきまりが守られていますか」「良いところを沢山見つけて褒めていますか」「時間がかかっても最後まで、諦めずに挑戦していますか」

「どうして？やりたい！の気持ちを大切にしていますか」園では、上記のことに心を留めながら日々の保育に取り組んでおります。それぞれの年齢にふさわしい活動を通して、「じっくり取り組む」保育を重ねてまいります。日々の生活を通して、友だちと一緒に楽しい、友だちって優しい等と感ずることが出来ます様に。

